

(御用金関連書類綴)		紙綴綴・5点	も186
八田慎蔵用状(金8両1分5朱支給に付) (八田)慎蔵→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	29日	横切継紙・1通	も186-1
大熊栄治用状(弥五右衛門より百金受取に付) 大熊栄治→佐藤為之進殿	2月10日	横切継紙・1通	も186-2
酒井市治用状(大坂収納代の件に付) (酒井)市治→(水野)清右衛門様	正月19日	横切継紙・1通	も186-3
長谷川三郎兵衛用状(御扶持代金額問合に付) 長谷川三郎兵衛→酒井市治殿	正月19日	切紙・1通	も186-4
某用状(御用品々々ノ辻金4千231両3分5朱等用途書上に付)		横切継紙・1通	も186-5
(包紙) 春原玄三→岡野敬一郎様 虫損	9月10日	包紙・1点	も187-1
春原玄三用状(この壱封御一覽願に付) (春原玄三)→	9月10日	切紙・1通	も187-2
割番用状(金2千49両2分等払方内訳に付) 割番→ 端裏書「午暮事件付献金覚」	未7月25日	横切継紙・1通	も188
某用状并端裏朱印(掃除場所上納金160両余等凡積書上に付)		横切継紙・1通	も189
某用状(別紙伺の趣了解願等に付)		横切継紙・1通	も191
某用状(宮下村への人別貸金調査に付)		横切継紙・1通	も192
(下目付宮入芳三郎拝借金関連書類一括)		紙綴綴・3点	も195
(紙綴)		紙綴・1点	も195-1
初方掛伺書[下目付宮入芳三郎拝借金之儀[]伺](下目付宮入芳三郎難渋に付10ヶ年賦にて拝借願に付) 初方掛り→ 虫損	12月	横切継紙・1通	も195-2
御収納郡方伺書[下目付拝借金之儀ニ付伺](別紙の通り了解に付) 御収納郡方→	12月	切紙・1通	も195-3
宮下兵馬用状(金440両3分1朱211文送金に付) (宮下)兵馬→御兩人様	11月10日	横切継紙・1通	も196
彦右衛門金銭請取書[覚](正月5日迄金1両6分2朱借用に付) 彦右衛門→役本	未12月30日	切紙・1通	も197
金井渡太夫他一名申上書[覚](金25両幸原村稲荷山村入相札山松木代金として収納に付) 金井渡太夫・兎玉九野右衛門/(裏書)矢沢将監・小山田平太夫・望月治部左衛門→竹内勘右衛門殿・馬場与惣右衛門殿	酉6月6日	縦紙・1通	も200
金井渡太夫他一名申上書[覚](金25両幸原村稲荷山村入相札山松木代金として収納に付) 金井渡太夫・岡本七右衛門/(裏書)小山田平太夫・大熊鞆負→久保九郎右衛門殿・関口忠右衛門殿 端裏書「松木代」	午4月29日	縦紙・1通	も201
鎌原伊野右衛門書状(御用金に付河原左京殿より佐藤誠之進へ申渡の件に付) 鎌原伊野右衛門→草間一路殿	7月29日	横切継紙・1通	も212
某用状[御内証申上継立候御勝手方へ差出趣迄](御領内村々の内五穀不毛の地へ手入の心得等に付)		横半半・1冊	も214
某用状(御酒肴代銀3枚等金銀書上に付)		横切継紙・1通	も216
某用状(伊勢町欠落音吉他9名等書上に付) 端裏書「歎願人別」		横切継紙・1通	も217
近藤権内金銭受取証文并請渡書[覚](大蓮院様御法事に付御施行金地座頭・盲女等へ錢7貫文受渡) 近藤権内/(奥印)柿崎良作/(奥印)磯田音門/(裏書)藤岡伊織→池田富之進殿・長谷川直太郎殿・高久専之助殿他3名	巳5月	縦紙・1通	も218
某用状(居屋敷高9石余・土蔵一棟等書上に付) 端裏書「塚田常平持地家財等」、虫損	6月	横切継紙・1通	も220

も 16 藩政/財政/勘定所/御用状

三郎兵衛書状(謙兵衛殿去年中100両拝借の処80両返済に付) 三郎兵衛→(宮下)謙大夫様	正月3日	横切継紙・1通	も 232
御勝手元メ申上書(御内借金御扱切の儀に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「出奔野村善五より御内借金儀付申上」「留済」、裏打済	卯3月23日	横切継紙・1通	も 233
御勝手元メ申上書(拝借金は早速上納支給に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御前様御供両組元メ并両組之者[]儀ニ付申上」「留済」、裏打済、虫損	11月20日	切紙・1通	も 234
御勝手元メ申上書(当春中御手当金拝借等のため内借願いたいとのことに付) 御勝手元メ→ - 端裏書「仁科章碩御内借金歎願の儀ニ付申上」「留済」	8月24日	横切紙・1通	も 235
御勝手元メ申上書(薬種料1両2分拝借願に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御供御送路薬種料拝借願の儀付申上」「留済」	10月6日	横切継紙・1通	も 236
御勝手元メ申上書(寅年は御足軽一統金3両宛拝借に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御旗組御足軽御手充拝借金の儀付申上」「留済」	9月10日	横切継紙・1通	も 237
御勝手元メ申上書(御送路薬籠持銘々拝借願に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御送路薬籠持銘々拝借の儀付申上」「留済」	10月10日	切紙・1通	も 238
御勝手元メ申上書(度々出府に付手当金支給に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「矢野六蔵御内借金之儀付申上」「留済」	10月	横切継紙・1通	も 239
御勝手元メ申上書(御供御送路薬籠持銘々1人宛拝借下に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御送路薬籠持人銘々拝借願の儀付申上」「留済」	10月10日	切紙・1通	も 240
御勝手元メ申上書(松山文聲江府拝借金3両1分5朱支給に付並びに篠原亭安出府の節5両拝借に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「松山文聲・篠原亭安拝借金之儀付申上」「留済」	11月2日	横切継紙・1通	も 241
御勝手元メ申上書(春原玄三供立婦手当拝借に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「春原玄三御手充拝借金之儀付申上」	12月16日	横切継紙・1通	も 242
某用状(師岡七郎右衛門金10両1分9朱7分5厘前借等メ金39両3分2朱4匁7分5厘書上に付)		横切継紙・1通	も 243
某申上書(文化・文政度日光表出立の拝借金を先例に付) 端裏書「日光御供御徒目付御徒士別段拝借の儀付申上」「留済」、裏打済 (御勝手元メ拝借金関連書類綴)		横切継紙・1通	も 244
御勝手元メ申上書(御目付方調役難渋に付金15両拝借下されたいとの旨に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御目付方調役拝借金之儀付申上」「留済」	10月	横切継紙・1通	も 245-1
御勝手元メ申上書(佐藤元吉当春中借金半分上納方差支に付拝借金願) 御勝手元メ→ - 端裏書「奥村之役佐藤元吉拝借金之儀付申上」「留済」	10月	切紙・1通	も 245-2
御勝手元メ申上書(定府より家内引戻に付拝借金歎願) 御勝手元メ→ - 端裏書「津田転御手充拝借歎願の儀付申上」「留済」	10月	切紙・1通	も 245-3
御勝手元メ申上書(御供出府の者金2分宛拝借に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御手廻七人立婦出府拝借金之儀付申上」「留済」	10月	横切継紙・1通	も 245-4
御勝手元メ申上書(桜井与吉板橋宿迄立婦御供に付御手当拝借金1両2分2朱支給願に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「桜井与吉御手充拝借金之儀付申上」「留済」	10月	切紙・1通	も 245-5
御勝手元メ申上書(御産所中間兩人急出府の御金2両2分御内借に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御産所中間当春急出府拝借金之儀付申上」「留済」	10月13日	横切継紙・1通	も 245-6
御勝手元メ申上書(出役の徒士拝借に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「太田表臨時出役之御徒士拝借金之儀付申上」「留済」[七月廿七日]	7月27日	切紙・1通	も 245-7
御勝手元メ申上書(松山文聲先年中貞松院様御供にて出府致し此度立婦に付拝借金3両に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「松山文聲江府より立婦之節拝借金之儀付申上」「留済」、御見合」附	8月13日	横切継紙・1通	も 245-8

札			
御勝手元メ申上書(御料理人手先の者御前様御供立帰出府の節拝借金3朱宛支給に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御料理人手先之者江府拝借金之儀付申上」留済	10月3日	切紙・1通	も 245-9
御勝手元メ申上書(御湯殿番兩人御座所中間兩人御供出府に付拝借金3分宛支給に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御湯殿番等拝借金之儀付申上」留済	10月11日	切紙・1通	も 245-10
御勝手元メ申上書(貞松院様御供立帰の節拝借金願に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「千喜良新之進当春中拝借金御渡之儀付申上」留済、虫損	12月18日	横切継紙・1通	も 245-11
御勝手元メ申上書(島田金隆御供出府に付拝借金歎願に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「島田金隆拝借金歎願之儀付申上」留済、訂正貼紙付	10月	横切継紙・1通	も 245-12
御勝手元メ申上書(埜村弥左衛門去3月中立帰急出府の節拝借金歎願に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「埜村弥左衛門去春中急出府之節御内借金之儀付申上」留済	正月27日	横切継紙・1通	も 247
(御手当相場勘定関連書類一括) 紙縫一括		紙縫束・3点	も 248
(紙縫)		紙縫・1点	も 248-1
御勝手元メ申上書(金切米之向御手当御扶持方今年上納相場17俵とのことに付) 御勝手元メ→ - 端裏書「金御切米之向御手充相場之儀付申上」留済	卯12月28日	横切継紙・1通	も 248-2
某用状(卯御手当辻差引勘定に付)		横切継紙・1通	も 248-3
(御供御番士増御手当関連書類綴)		紙縫綴・9点	も 249
御目付申上書(御供御番士諸色高直難渋のため1人へ5兩つ、拝借願勘弁に付) 御目付→ - 端裏書「一」御供御番士拝借金歎願之儀ニ付申上	正月	横切継紙・1通	も 249-1
御供御番士歎願書[口上覚](月々御手当金3兩継続願に付) 御供御番士→ -	2月	横切継紙・1通	も 249-2
御目付申上書(月々金5兩月々1人へ金300疋づつ手当支給に付) 御目付→ - 端裏書「三」御供御番士御手充之儀ニ付御内々申上	2月	横切継紙・1通	も 249-3
太郎申上書(御供御番士別紙のような願に付) 太郎→ - 端裏書「四」申上	2月9日	切紙・1通	も 249-4
前嶋友之進申上書(目付取調申立並びに仰渡方に付) 前嶋友之進→ - 端裏書「五」御供御番士御手充筋之儀付申上、訂正貼紙付	2月	横切継紙・1通	も 249-5
赤澤助之進書状(御供御番士御手当300疋支給願に付) 赤澤助之進→高野廣馬殿 端裏書「六」	2月11日	横切紙・1通	も 249-6
高野廣馬申上書(御供御番士江増御手当の儀長谷川太郎申上の様に御採用とのことに付) 高野廣馬→ - 端裏書「七」御供御番士江増御手充被下之儀ニ付申上	2月12日	横切紙・1通	も 249-7
某申渡案文(御在京中1人に付月々金3分づつ増御手当下すとのことに付) 端裏書「八」御試案、申渡案文		横切継紙・1通	も 249-8
助之進用状(御番士内心不満にて拝借金等に付) (赤澤)助之進→(真田)志摩様 端裏書「九」評議 御供御番士御手充	2月12日	横切継紙・1通	も 249-9
(拝借金関連書類綴)		紙縫綴・4点	も 250
御収納郡方申上書(常田(金偏に參)太夫立帰出府仰付られるに付差支御時拝借願に付) 御収納郡方→ - 端裏書「常田(金偏に參)太夫御時拝借之儀ニ付申上」留済、訂正貼紙付	11月19日	横切継紙・1通	も 250-1
御収納郡方申上書(馬場弥三郎・吉村左織・竹村熊三郎御時拝借上納方歎願に付) 御収納郡方→ - 端裏書「馬場弥三郎外兩人御時借金上納方之儀申上」留済	11月22日	切紙・1通	も 250-2

も 16 藩政／財政／勘定所／御用状

某用状(去る辰年御帰城の節立帰足軽不足辻へ内借金のため申立に付) 端裏書「先年中御暮写」	7月	切紙・1通	も 250-3
某用状(文久元年小野宗甫へ金2分御帰城の節御手当の旨書上に付)		横切継紙・1通	も 250-4
御収納郡方申上書(去去年6月中立帰足軽拝借願に付) 御収納郡方→ 端裏書「去去年立帰御足軽拝借金御払切之儀申上」「留済」、裏打済、虫損	12月24日	切紙・1通	も 251
(御収納郡方拝借金関連書類綴)		紙綴綴・10点	も 252
御収納郡方申上書(両角玄脩立帰出府のため拝借金申立に付) 御収納郡方→ 端裏書「両角玄脩立帰出府拝借金之儀付申上」「留済」	4月19日	切紙・1通	も 252-1
御収納郡方申上書(御酒番惣左衛門出府のため拝借金申立の儀異存なしに付) 御収納郡方→ 端裏書「御酒番此内惣左衛門出府拝借金之儀付申上」「留済」	5月2日	横切継紙・1通	も 252-2
御収納郡方申上書(辰年御帰城の節立帰御足軽不足辻へ内借金支払に付) 御収納郡方→ 端裏書「去辰年御帰城之節立帰御足軽不足辻付御内借金之儀付申上」「留済」	7月6日	横切継紙・1通	も 252-3
御収納郡方申上書(卯年より当未年迄差札ノ8両当未より8年賦にて支給に付) 御収納郡方→ 端裏書「御入部御供御番士江府御内借金之儀付申上」「留済」、訂正貼紙付	5月15日	切紙・1通	も 252-4
御収納郡方申上書(去る辰年同様金2分5匁づつ支払に付) 御収納郡方→ 端裏書「御参府御供御足軽不足辻江御内借金之儀付申上」	7月19日	切紙・1通	も 252-5
御収納郡方申上書(小野柔四郎・小野権兵衛拝借金上納方歎願申立附札の通致すべきとのことに付) 御収納郡方→ 端裏書「小野柔四郎等拝借金上納歎願之儀付申上」「留済」	11月20日	切紙・1通	も 252-6
御収納郡方申上書(江戸迄の振合なら金子3両拝借に付) 御収納郡方→ 端裏書「春原玄三急立帰拝借金之儀付申上」「留済」	5月	横切継紙・1通	も 252-7
御収納郡方申上書(御供御右筆両人の下役拝借の儀に付1人の拝借再応申立に付) 御収納郡方→ 端裏書「御供之御右筆下役拝借之儀ニ付申上」「留済」、訂正貼紙付、虫損	5月13日	横切継紙・1通	も 252-8
御収納郡方申上書(篠原良意亡嫡玄浮修業手当拝借の分御払切歎願に付) 御収納郡方→ 端裏書「篠原良意立帰修業手充拝借御払切願之儀付申上」「留済」、虫損	4月20日	切紙・1通	も 252-9
御収納郡方申上書(御入部の節御供御番士江府御内借金の儀別段異存なしに付) 御収納郡方→ 端裏書「御入部の節御供御番士江府御内借金之儀付申上」「留済」	4月24日	横切継紙・1通	も 252-10
御収納郡方申上書(大日方四郎兵衛知行所南俣村分の玄米35俵拝借等に付) 御収納郡方→ 端裏書「御家中御知行所水災ニ付飯米差支ニ付拝借米歎願之儀御尋ニ付申上」訂正貼紙付	12月	横切継紙・1通	も 253
(借金書上書類綴)		紙綴綴・6点	も 254
某用状(長岡茂市分金43両2分8匁6分書上に付)		横切継紙・1通	も 254-1
某用状(金井藤三郎分金56両2分14匁1分9厘書上に付)		切紙・1通	も 254-2
某用状(諏訪部道齊分金25両1分13匁3分7厘書上に付)		切紙・1通	も 254-3
某用状(栗山五郎作分21両2分11匁5分1厘書上に付)		横切継紙・1通	も 254-4
某用状(竹花其右衛門分金7両1分8匁9分2厘等ノ金234両3分6匁9分7厘書上に付) 訂正貼紙付、裏打済		切紙・1通	も 254-5
某用状(諏訪部道齊分金25両1分13匁3分7厘等ノ金126両3分12匁1分3厘書上に付) 裏打済		横切継紙・1通	も 254-6

17 藩政／財政／勘定所／御馬飼料掛

藤田右仲他二名申上書[覚](卯年中御馬飼料他代金146兩余預金に付) 藤田右仲・山岸文太夫・前島源藏/(奥印)成沢勘左衛門/(奥印)柘植部・竹内金左衛門→飯島五右衛門殿・入十助殿 裏書「表書之通奉承知候 祢津数馬 恩田空 祢津大炊」虫損	宝暦10年辰10月	縦継紙・1通	も 140
[御馬飼料之内疋大豆請負人六人江当十二月迄者は迄之通來申年より延引申渡候受書](包紙)	文政6年末11月	包紙・1点	も 155-1
殿町新左衛門他五名申上書[御請申上一札之御事](刈大豆御用達延長御受に付) 殿町新左衛門・荒神町武左衛門・東寺尾村甚三郎他3名→御郡御奉行 下ケ札あり	文政6年末11月	縦紙・1通	も 155-2
奈良井村佐平治他五名申上書[差上申一札之御事](子年御馬飼料人足代金3兩受取に付) 奈良井村御請負佐平治・名主彦左衛門・組頭七郎兵衛他3名→町田権之助様・半田藤右衛門様 端裏書「亥三月 奈良井佐平治」	文政10年亥12月	縦継紙・1通	も 141
(馬轡・荒糠買上願書綴 天保4年12月)		紙縫綴・6点	も 159
殿町源治申上書[覚](馬轡1足に付11文5分の値段10文5分に値下願) 殿町源治→長岡藤吉様・丸山平左衛門様御役所 源治下ケ札あり	(天保4年)巳12月	切紙・1通	も 159-1
麴町金太郎願書[覚](あら糠1俵48文等買上願) 麴町金太郎→長岡藤吉様・丸山平左衛門様御役所	(天保4年)巳12月	切紙・1通	も 159-2
殿町竹治郎願書(荒糠1俵48文にて買上願) 殿町竹治郎→御馬飼料御懸り様御役所 下ケ札あり	(天保4年)巳12月	切紙・1通	も 159-3
殿町竹治郎願書(馬轡1足に付12文にて買上願) 殿町竹治郎→御馬飼料御懸り様御役所	(天保4年)巳12月	切紙・1通	も 159-4
中町莊助願書(馬轡1足に付14文にて買上願) 中町莊助→長岡藤吉様・丸山平左衛門様御役所	(天保4年)巳12月	切紙・1通	も 159-5
中町莊助願書(荒糠5斗に付48文にて買上願) 中町莊助→長岡藤吉様・丸山平左衛門様御役所 下ケ札あり	(天保4年)巳12月	切紙・1通	も 159-6
金児喜伝治他一名金銭受取証文[覚](御貸馬不足の分御飼料代金2兩13匁5分他11疋分メ金69兩1分受取に付) 御厩小頭金児喜伝治・稲葉恒作/(奥印)竹村金吾・竹村七左衛門/(奥印)宮沢喜代治→小野左金太殿・中島宇吉殿 訂正貼紙付	天保8年酉3月	横切継紙・1通	も 160
荒神町喜三郎他一名申上書[差上申一札之御事](御馬飼料代金15兩受取に付) 荒神町納主喜三郎・御請合小川屋惣吉→中島宇吉様・丸山平左衛門様 端裏書「未七月 荒神町喜三郎」虫損	天保6年末7月	縦紙・1通	も 142
金児銀之助他一名申上書[覚](午年御馬飼料大豆代金31兩余受取に付) 御厩小頭金児銀之助・同小池太三郎/(奥印)竹村金吾・竹村七左衛門・中村元尾/(奥印)堀内太一郎→中島宇吉殿・丸山平左衛門殿 虫損	天保6年末3月	縦継紙・1通	も 144
殿町源治他一名受取証[御請申一札証文之御事](御馬飼料御買上尅代金2万11兩) 御受負人殿町源治・御受人金十郎→御馬飼料御掛り様御役所 端裏書「源治」	天保6年末12月	縦紙・1通	も 149
御厩申上書[覚](当未8月より來申7月まで御飼料大積合計9千480疋に付) 御厩→御飼料掛様	(天保6年)未閏7月	横切継紙・1通	も 154
(御馬飼料受取書綴 天保7年2月)	天保7年申2月	紙縫綴・3点	も 145
小池栄治他一名申上書[覚](未年御馬飼料大豆他代金10兩余受取に付) 御厩小頭小池栄治・同稲葉恒作/(奥印)竹村金吾/(奥印)相原織之助→中島宇吉殿・丸山平左衛門殿 虫損	天保7年申2月	縦継紙・1通	も 145-1
小池栄治他一名申上書[覚](御借馬飼料代金66兩余受取に付) 御厩小頭小池栄治・同稲葉恒作/(奥印)竹村金吾・竹村七左衛門・江戸詰無印中村元尾/(奥印)相原織之助→中島宇吉殿・丸山平左	天保7年申2月	縦継紙・1通	も 145-2

も 17 藩政／財政／勘定所／御馬飼料掛

衛門殿 虫損			
小池栄治他一名申上書[覚](御馬飼料大豆代金33兩余受取に付) 御厩小頭小池栄治・同稲葉恒作/(奥印)竹村金吾・竹村七左衛門・江戸詰無印中村元尾/(奥印)相原織之助→中島宇吉殿・丸山平左衛門殿 虫損	天保7年申2月	縦継紙・1通	も 145-3
宮沢喜代治他一名申上書[覚](御馬飼料代金119兩余受取に付) 助宮沢喜代治・同相原惣左衛門/(奥印)金児丈助→関口文十郎殿・小崎孝作殿・前崎源藏殿他2名 虫損	天保8年酉12月	縦切紙・1通	も 143
金児喜伝治他一名申上書[覚](申年御馬飼料大豆代金37兩余受取に付) 御厩小頭金児喜伝治・稲葉恒作/(奥印)竹村金吾・竹村七左衛門/(奥印)宮沢喜代治→小野左金太殿・中島宇吉殿 虫損	天保8年酉3月	縦継紙・1通	も 146
御馬飼料掛伺書(去巳12月から当5月まで過納代金905兩余に付) 御馬飼料掛→ - 端裏書「御馬飼料過納人別之者共江御下ヶ金之儀伺」虫損	7月	横切継紙・1通	も 147
司馭伺書[口上覚](御厩日々御入料真木の減らし方に付) 司馭→ - 端裏書「御厩日々御入料真木の議ニ付奉伺」下ヶ札あり (御馬飼料大豆入札綴 天保9年12月)	閏10月	横切継紙・1通	も 148
東川田村留八請書[差上申一札之御事](大豆1両あたり1石2斗1升にて販売に付) 東川田村留八→御掛り御役所	天保9年戌12月	縦切紙・1通	も 150-1
東川田村健左右衛門請書[差上申一札之事](大豆1両あたり1石2斗1升にて販売に付) 東川田村健左右衛門→御懸り御役所	天保9年戌12月	縦紙・1通	も 150-2
殿町金十郎入札書[覚](大豆1両あたり1石2斗8升にて買上願に付) 殿町金十郎→御馬御飼料御掛り様御役所	天保9年戌12月	横切紙・1通	も 150-3
下租山村伊右衛門他一名請書(大豆1両あたり1石1斗6升5合にて販売に付) 下租山村伊右衛門・両吉→ -	(天保9年)戌12月	縦切紙・1通	も 150-4
東川田村与右衛門請書[差上申一札之御事](大豆1両あたり1石2斗にて販売に付) 東川田村与右衛門→御懸り御役所	天保9年戌12月	縦切紙・1通	も 150-5
坪根村作兵衛請書(大豆1両あたり1石2斗5合にて販売に付) 坪根村作兵衛→ -	(天保9年)戌12月	縦切紙・1通	も 150-6
中町瀬右衛門請書[覚](大豆1両あたり1石1斗6升にて販売に付) 中町瀬右衛門→小野左金太様・青柳忠太様	天保9年戌12月	横切紙・1通	も 150-7
新町村正之助他一名請書(御馬飼料として大豆1両あたり1石1斗7升にて販売に付) 新町村正之助・民藏→ -	天保9年戌12月	縦切紙・1通	も 150-8
殿町仁平入札書[入札奉差上候](大豆1両あたり1石5升にて買上願に付) 殿町仁平→ -	(天保9年)戌12月3日	横切紙・1通	も 150-9
肴町長治請書[覚](大豆1両あたり1石2斗にて販売に付) 肴町長治→小野左金太様・青柳長太様	(天保9年)12月	横切紙・1通	も 150-10
大岡代村五右衛門入札書[入札](御馬飼料として大豆1両あたり1石1斗6升にて買上願に付) 大岡代村五右衛門→御馬飼料御役所	天保9年戌12月	縦紙・1通	も 150-11
上小島田村重兵衛他一名入札書[入札之事](上大豆1両あたり1石5升にて買上願に付) 上小島田村重兵衛・儀右衛門→ -	(天保9年)戌12月3日	横切紙・1通	も 150-12
東寺尾村儀左衛門入札書[覚](大豆1両あたり1石1斗5升にて買上願に付) 東寺尾村儀左衛門→御馬屋御掛り御役所	(天保9年)12月	横切紙・1通	も 150-13
山上条村由右衛門入札書[差上申一札之事](大豆1両あたり1石1斗にて販売に付) 山上条村由右衛門→御懸り御勘定御役所	天保9年戌12月	縦紙・1通	も 150-14
(御馬飼料受取証綴 嘉永6年11月～2月)		紙綴綴・3点	も 152
(御馬飼料勘定書)		横切紙・1通	も 152-1

北島理兵衛他一名金銭受取証文[覚](御馬飼料刈大豆代金72両余受取つき) 北島理兵衛・関田慶左衛門/(奥印)水野清右衛門/(奥印)菊池孝助・御用無印水井忠蔵/(奥印)竹村金吾→片桐重之助殿・高野覚之進殿	嘉永6年丑11月	縦継紙・1通	も152-2
北島理兵衛他一名金銭受取証文[覚](御馬飼料品々代金89両余受取に付) 北島理兵衛・関田慶左衛門/(奥印)半田亀作/(奥印)菊池孝助・水井忠蔵/(奥印)宮下兵馬→片桐重之助殿・高野覚之進殿	嘉永7年寅2月	縦継紙・1通	も152-3
木渡若林新吾他一名金銭受取証文[覚](藁165駄5朱5分代金6両1分2朱3分8厘受取に付) 木渡若林新吾・北沢丈兵衛→片桐重之助殿・高野覚之進殿 訂正貼紙付	(嘉永6年)丑12月	横切継紙・1通	も177
木渡若林新吾他一名金銭受取証文[覚](藁224駄代金8両2分6匁9分2厘受取に付) 木渡若林新吾・北沢丈兵衛→片桐重之助殿・高野覚之進殿 端裏書「藁代御馬飼料払」	安政元年寅12月	切紙・1通	も178
御厩所申上書[覚](大豆32石7斗6升等来午年御馬飼料見積書上に付) 御厩所→ -	巳10月	横切継紙・1通	も156
(御厩飼料関連書類綴)		紙縫綴・3点	も157
御馬飼料掛伺書[口上覚](当7月より12月までの御馬飼料大豆53石入札願に付) 御馬飼料掛→ -	7月	横切継紙・1通	も157-1
御厩申上書[覚](当7月より12月までの飼料大豆66石5斗6升見積に付) 御厩→御飼料掛様	7月	横切継紙・1通	も157-2
某用状[覚](大豆5石6斗2升8合小笹沖之嶋去年分に付)		切紙・1通	も157-3
某取調書[別段御馬七疋分取調](大豆32石3斗代金32両1分3匁等馬七疋分入料ノ金97両3分5匁取調に付) 端裏書「七疋分惣御入料取調」		切紙・1通	も179
[上](包紙)		包紙・1点	も153-1
五荷町長治他四名願書[乍恐以書付奉追歎願候](御馬飼料高直のため御厩御差支に付) 五荷町惣代長治・中町同長右衛門・御厩町同猶八郎他2名→御飼料御掛り御役所	明治2年巳4月	縦継紙・1通	も153-2

18 藩政／財政／勘定所／穀類相場

某用状[当亥石代御直段](本途米・口米相場書)		縦紙・1通	も42
(領内相場取調申上書一括 明治元年11月)		紐一括・25点	も40
(紐)		紐・1点	も40-1
[辰納御立相場伺](封筒) 佐藤為之進	(明治元年)11月	封筒・1点	も40-2
磯田音門他三名伺書[辰納御立相場伺](辰年米大豆買継相場立のため取調に付) 磯田音門・佐藤為之進・岸太五之丞他1名付紙、下ケ札あり	明治元年11月	縦半・1冊	も40-3
(松代城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調申上書綴 明治元年11月)	(明治元年)	紙縫綴・14点	も40-4
某用状[御城下町平均](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付)	(明治元年)	縦紙・1通	も40-4-1
紺屋町弥右衛門申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 紺屋町弥右衛門→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月11日	縦紙・1通	も40-4-2
中町嘉忠治申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 中町嘉忠治→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月11日	縦紙・1通	も40-4-3
荒神町孝治郎申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 荒神町孝治郎→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月11日	縦紙・1通	も40-4-4

も 18 藩政／財政／勘定所／穀類相場 19 藩政／財政／勘定所／諸願

鏡屋町長左衛門申上書[覚](城下町平均真粉・覆粉・大豆相場取調に付) 鏡屋町長左衛門→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月11日	縦紙・1通	も40-4-5
紺屋町弥右衛門申上書[覚](城下町平均真粉・覆粉・大豆相場取調に付) 紺屋町弥右衛門→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月13日	縦紙・1通	も40-4-6
中町嘉忠治申上書[覚](城下町平均真粉・覆粉・大豆相場取調に付) 中町嘉忠治→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月13日	縦紙・1通	も40-4-7
荒神町孝治郎申上書[覚](城下町平均真粉・覆粉・大豆相場取調に付) 荒神町孝治郎→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月13日	縦紙・1通	も40-4-8
鏡屋町長左衛門申上書[覚](城下町平均真粉・覆粉・大豆相場取調に付) 鏡屋町長左衛門→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月13日	縦紙・1通	も40-4-9
紺屋町弥右衛門申上書[覚](城下町平均真粉・覆粉・大豆相場取調に付) 紺屋町弥右衛門→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月15日	縦紙・1通	も40-4-10
中町嘉忠治申上書[覚](城下町平均真粉・覆粉・大豆相場取調に付) 中町嘉忠治→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月15日	縦紙・1通	も40-4-11
荒神町孝治郎申上書[覚](城下町平均真粉・覆粉・大豆相場取調に付) 荒神町孝治郎→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月15日	縦紙・1通	も40-4-12
鏡屋町長左衛門申上書[覚](城下町平均真粉・覆粉・大豆相場取調に付) 鏡屋町長左衛門→御勘定所御元ノ御役所 端裏貼紙「御見合」	明治元年辰11月15日	縦紙・1通	も40-4-13
(領内粉・大豆相場取調申上書綴 明治元年11月)		紙縫綴・8点	も40-5
鎌原伊野右衛門用状(別紙伺附札の通り心得るべき旨に付) 鎌原伊野右衛門→佐藤為之進殿	(明治元年)11月24日	横切紙・1通	も40-5-1
某用状[所々相場平均](上田町・稲荷山村等粉・大豆相場取調に付) 下ヶ札あり	(明治元年11月)	縦紙・1通	も40-5-2
鼠宿村西沢仁兵衛他二名申上書[差上申一札之事](上米・上大豆相場取調に付) 鼠宿村名主西沢仁兵衛・組頭長左衛門・長百姓泰助→御勘定所御勘定御元ノ御役所	明治元年辰11月	縦紙・1通	も40-5-3
桑原村栄左衛門他三名申上書[差上申一札之事](粉・玄米・大豆相場取調に付) 桑原村名主栄左衛門・組頭平八・同新助他1名→御勘定所御勘定御元ノ御役所	明治元年辰11月14日	縦紙・1通	も40-5-4
新町村源之丞他四名申上書[差上申一札之事](粉・玄米・大豆相場取調に付) 新町村名主源之丞・組頭喜右衛門・同断久之丞他2名→御勘定所御勘定御元ノ御役所	明治元年辰11月14日	縦紙・1通	も40-5-5
渡町村鈴木八兵衛申上書[差上申一札之事](粉・玄米・大豆相場取調に付) 渡町村鈴木八兵衛→御勘定所御勘定御元ノ御役所	明治元年辰11月14日	縦紙・1通	も40-5-6
福島宿花井定之助申上書[差上申一札之事](粉・大豆相場取調に付) 福島宿間屋花井定之助→御勘定所御勘定御元ノ御役所	明治元年辰11月14日	縦紙・1通	も40-5-7
小布施村関谷小右衛門申上書[相場書上覚](小布施町木屋太作粉・玄米・大豆相場取調に付) 小布施村関谷小右衛門→御勘定所御勘定御元ノ御役所 端裏貼紙「御見合」	明治元年辰11月13日	縦紙・1通	も40-5-8

19 藩政／財政／勘定所／諸願

西条村名主久左衛門他五名申上書[乍恐以書付奉申上候](御用地拝命のため御高辻地代金積高1斗5升2合にて御下ヶ金4両頂戴に付) 西条村名主久左衛門・長百姓新左衛門・頭立惣代徳右衛門他3名→池田良右衛門様・中嶋宇吉様・御立合中村義一郎様 裏打済	天保6年末2月	縦継紙・1通	も183
[上](包紙) 上松村孫右衛門		包紙・1点	も162-1

20 藩政／財政／勘定所／諸金銭請払	21 藩政／財政／奥向／諸勘定	も 19 藩政／財政／勘定所／諸願	22 藩政／財政／甲府・奥羽出兵
上松村本郷孫右衛門願書[乍恐以書付奉願上候](鬼無里山御林より御城用才薪伐出難渋に付冥加金免除願に付) 上松村本郷孫右衛門→才薪御懸り御役所	慶応3年卯6月	堅紙・1通	も162-2
(大豆買上関係書類一括 12月)		端貼付一括・2点	も158
御用達新左衛門願書(当年出水で刈大豆泥付にて買上等により当家難渋のため引役願に付) 御用達新左衛門→竹(村)権左衛門様御取次中様	12月朔日	横切継紙・1通	も158-1
竹村権左衛門願書(新左衛門妻子扶助のため手当支給願に付) (竹村)権左衛門→(岡嶋)莊藏様	12月7日	切紙・1通	も158-2

20 藩政／財政／勘定所／諸金銭請払

関屋村喜太郎他八名受取証文[御金奉請取証文之事](来戊年中御入料薪の内前金6兩余引当請人喜伝治所持畑5俵地に付) 関屋村御請負人喜太郎・同永左衛門・同佐左衛門他6名→相原惣左衛門様・宮沢喜代治様 端裏書「関屋村喜太郎」	天保8年酉12月	堅継紙・1通	も70
竹村金吾金銭請取書[覚](用紙代銀2匁6分4厘受取に付) 竹村金吾→小林友之丞殿・宮下民馬殿	午8月	切紙・1通	も190
屋根屋常吉申上書[覚](御役所下家分等屋根葺替代金ノ1兩1分2朱銭374文に付) 屋根屋常吉→御役所御役人衆中様 訂正貼紙付	5月	堅継紙・1通	も219

21 藩政／財政／奥向／諸勘定

三嶋申上書(250疋御内拝借に付) 三嶋→ 端裏書「貞松院様御暮前御内借之儀申上」	12月28日	切紙・1通	も231
---	--------	-------	------

22 藩政／財政／甲府・奥羽出兵

(拝借金引揚勘定関係綴)		紙綴一括・2点	も81
某用状(北越出兵戦争入用差支のため9万5千兩拝借返済残金仕訳に付) 黒野紙使用		堅紙・1通	も81-1
(松代・須坂・飯山・小諸・上田藩製造高・引揚支消高取調書)		堅紙・1通	も81-2
林栄之進願書(新潟表出張のため御手札25両官札と引替に付) 林栄之進→御番頭御中	7月	横切継紙・1通	も112
(甲州一件献金関連書類綴)		紙綴綴・8点	も261
海沼龍平申上書(今般の御大事件に付御救助の数万の手形急場は借入にするべきとのこと等に付) 海沼龍平→岡野敬一郎様・栢植彦六様 端裏書「海沼新輔より返草」	(明治3年)12月19日	横切継紙・1通	も261-1
出納掛申上書(甲州山梨郡倉科村間瀬竹八大事件の際に官札100両献金に付御帷子一つ下賜に付) 出納掛→ 端裏書「野池一条申立」虫損	(明治3年)12月	横切継紙・1通	も261-2
某用状(金15兩3朱銭280文大事件の節野池勇太郎借入に付)	(明治3年)12月29日	横切継紙・1通	も261-3
甲州巨摩郡台ヶ原村八之丞用状(野池勇太郎への片袖拜命の件承知に付) - →松代御役人衆中様	(明治3年)庚午極月20日	横切継紙・1通	も261-4
海沼龍平願書[奉願候書付](今般御在所表大事件に付金10両献金願に付) 海沼龍平→水野清右衛門殿 訂正貼紙付	(明治3年)庚午12月	横切紙・1通	も261-5

も 22 藩政／財政／甲府・奥羽出兵 23 藩政／財政／神社郡政局・民事掛／申上書・諸用状

海沼龍平申上書[取替金左之通](取替金3両山本左兵衛殿等 メ金30両2分の内25両御救筋御入費の内へ献金致すこと 等に付) 海沼龍平→水野清右衛門殿 上部破損	(明治3年)12月	横切継紙・1通	も 261-6
間瀬竹八用状(金100両差上ることに付) 間瀬竹八→野地勇太 郎様	(明治3年)午12月15日	横切継紙・1通	も 261-7
海沼龍平用状(今般御大事件の節金10両献金したこと承知 致してくれるようにとのこと等に付) 海沼龍平→水野清右 衛門様	(明治3年)12月19日	横切継紙・1通	も 261-8

23 藩政／財政／神社郡政局・民事掛／申上書・諸用状

某用状[口上書](当県管内石代相場の件大蔵省租税寮へ伺 のところ別段伺わず定めてもよい旨口建に付) 端裏貼紙「 三」	11月20日	横切紙・1通	も 43
(瀬戸川村馬曲組御手当関連書類綴)		紙綴綴・4点	も 291
郡政副主事伺書并下ケ札(瀬戸川村馬曲組大麦3俵3斗夫喰 差支に付御手当下すことに付並びに伺いの通りとの旨に 付) 郡政副主事→ - 裏打済、下ケ札あり	4月	横切継紙・1通	も 291-1
野本力太郎口上書[口上覚](瀬戸川村馬曲組大麦3俵3斗夫 喰差支に付御手当下すことに付) 野本力太郎→ - 裏打済	4月	横切継紙・1通	も 291-2
出納懸り申上書(極難の村々夫食拝借大麦代金支給に付) 出納懸り→ - 端裏書「村々夫食拝借御下ケ金之儀ニ付申上」、裏打 済	12月	横切継紙・1通	も 291-3
瀬戸川村馬曲組名主善九郎他二名申上書[御尋ニ付忝恐以 書付奉申上候](当村初蔵他8名当村困窮人書上に付) 瀬 戸川村馬曲組名主善九郎他2名→司祝御役所 訂正貼紙付、端裏書 「瀬戸川村馬曲組極難之上病災人別御手充伺 郡政副主事」	明治3年午4月	豎半・1冊	も 291-4
(小河原村東組御手当関連書類綴)		紙綴綴・3点	も 292
某申上書(小河原村東組御手当の儀少々宛になるとのこ とに付) 端裏書「小河原村東組御手充之儀付申上」	12月	横切継紙・1通	も 292-1
某用状(小河原村東組御手当下され方の儀郡政方向には 明年は兎も角今年は下すようにとのことに付) 端裏書「小 河原村」		横切継紙・1通	も 292-2
某用状(小河原村東組の文政2年よりの免相書上に付) 貼紙 付		横切継紙・1通	も 292-3
某用状(押鐘村極難洪の者34人奉公稼致したいとの旨等に 付)		横切継紙・1通	も 293
某用状(下高田村文政3年等の御手当粉・金取調に付) 一部 裏打済		横切継紙・1通	も 294
(地京原村藤沢組地震御手当関連書類綴 明治4年10月～12 月)		紙綴綴・3点	も 288
監督申上書并端裏朱印(地京原村藤沢組の者弘化4年地震に て難渋いたし安政6年より昨午年迄12ヶ年年初30俵御手当 下していたのでこの度も支給に付) 端裏書「地京原村之内藤 沢組の者御手充初被下方之儀ニ付申上」	(明治4年未)12月29日	横切継紙・1通	も 288-1
民事掛伺書(地京原村藤沢組の者共去る未年地震災にて家・ 人馬・田畑被害に付御手当初30俵是までのように支給の 件に付) 民事掛→ -	(明治4年)未11月	横切継紙・1通	も 288-2
地京原村上組藤沢組惣代大久保庄右衛門他四名歎願書[乍 恐以書付奉歎願候](当村の者共去る未年地震大災にて 家・人馬・田畑被害に付御救頂戴致したいとのことに付) 地京原村上組藤沢組惣代大久保庄右衛門・名主吉沢次五右衛門・組頭	明治4年未10月	豎半・1冊	も 288-3

大内富作他2名→松代御役所 訂正貼紙付、端裏書「地京原村御手充伺 民事懸」との貼紙付			
(力石村山師中村庄八御林入札等関連書類綴)		紙縫綴・3点	も 207
力石村山師中村庄八願書[差上申一札之事](上平村地附御林の松木代金425両御下ケ願に付) 力石村山師中村庄八→訂正貼紙付	明治4年未2月	縦紙・1通	も 207-1
力石村山師中村庄八申上書[御尋ニ付奉申上候](入札御尋に付メ金525両であるとの旨返答に付) 力石村山師中村庄八→松代藩御役所 訂正貼紙付	明治4年未2月	縦紙・1通	も 207-2
力石村山師中村庄八願書并下ケ札[乍恐以書付奉願上候](御林御払木入札任命等並びに上納残金400両の件等に付) 力石村山師中村庄八 下ケ札あり	明治4年未2月	縦半・1冊	も 207-3
(長寿者扶持米御手当関連書類綴)		紙縫綴・4点	も 289
会計懸申上書(中町新七借家喜作祖母みき他39名88歳以上長寿のため年々粉2人扶持下すとのことに付) 会計懸→-	2月	横切継紙・1通	も 289-1
会計懸申上書(竹山同心町作右衛門稀の長寿に付粉2人扶持支給に付) 会計懸→-		切紙・1通	も 289-2
市井方申上書(中町宮沢新七借家小林喜作祖母みき稀の長寿のため年々粉2人扶持支給願に付) 市井方→会計方様	2月19日	横切継紙・1通	も 289-3
会計懸申渡(88歳以上の者病死の儀に付) 会計懸→-		切紙・1通	も 289-4
会計掛り伺書(岩崎五郎右衛門粉19俵等献上致す者昨年居宅焼失のため献上の粉下すとのことに付) 会計掛り→端裏書「伺」「承済候事」	2月16日	横切継紙・1通	も 290
(窮民御救関連書類綴)		紙縫綴・12点	も 281
野中喜左衛門伺書(残金93両3分に付) 野中喜左衛門→端裏書「山里村之町之外窮民御救大麦代金御中借之儀伺」	12月	切紙・1通	も 281-1
郡政庶務方伺書(上祖山村金12両2分等メ33両3分に付) 郡政庶務方→端裏書「窮民江被下大麦代金渡残之儀付伺」、「承済候事」貼紙付	11月	横切継紙・1通	も 281-2
某用状(大熊村金38両3分7匁8分等書上に付) 端裏書「夫食拝借等」		横切継紙・1通	も 281-3
郡政副主事申上書(救済のため様子取調べるべきに付) 郡政副主事→端裏書「小沼村御救之儀御尋付申上」	12月6日	横切継紙・1通	も 281-4
民事掛伺書并藤井端裏朱印(町方大麥相場取調に付) 民事掛→端裏書「窮民御救被下物代金御下ケ之儀伺」	(明治4年)未12月	横切継紙・1通	も 281-5
監督申上書并赤澤端裏朱印(一昨午未進取立金にて救済に付) 監督→端裏書「窮民御救筋御金払之儀ニ付申上」	正月11日	横切継紙・1通	も 281-6
民事懸伺書(午未進取立の内にて救済に付) 民事懸→端裏書「窮民御救被下候儀ニ付伺」	正月	切紙・1通	も 281-7
某用状(笹平村寛延3年より寛政11年までの御手当書上に付)		切紙・1通	も 281-8
某用状(大安寺村金42両1分3匁等慶応3年～明治2年日記拝借記事書抜に付)		横切継紙・1通	も 281-9
某書状(当藩支配所救済の米買上に付) - →久保田新兵衛様裏打済	9月13日	横切継紙・1通	も 281-10
伊藤作右衛門他一名伺書(当春麦不作の村々への鑑札仕様等に付) 伊藤作右衛門・竹内六郎兵衛→-	9月	横切継紙・1通	も 281-11
伊藤作右衛門他一名申上書(山中村々作柄悪く難洪のため御救夫食歎願に付) 伊藤作右衛門・竹内六郎兵衛→-	9月	横切継紙・1通	も 281-12
(近年農業出精収納方相励む者へ御手充関連書類綴)		紙縫綴・8点	も 286

も 23 藩政／財政／神社郡政局・民事掛／申上書・諸用状 24 藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状

某用状(本免・冥加等収納増加の仕法等に付) 端裏書「老」御尋之御趣意]		横切継紙・1通	も 286-1
某用状(村々へ臨時手当の件に付) 端裏書「忒」下案]		横切継紙・1通	も 286-2
矢沢監物書状(別紙の趣承済並びに來月朔日に申渡ようにとのこと) 矢沢監物→岡嶋莊藏殿 端裏書「三」]	11月22日	切紙・1通	も 286-3
某用状(村々臨時手当の申渡しの案文取調に付) 端裏書「四」窺下案]		横切継紙・1通	も 286-4
某用状[被仰渡](近年農業出精者への臨時手当評議に付)		横切継紙・1通	も 286-5
(収納試算) 追加石高貼紙付		横切継紙・1通	も 286-6
某廻章并権右衛門勘返状(下案伺取調書へ意見依頼に付) 端裏書「廻章」]		横切継紙・1通	も 286-7
某廻章并権右衛門勘返状(元メの下案伺取調書へ意見依頼に付) 端裏書「廻章」]		横切継紙・1通	も 286-8
民事懸伺書并端裏朱印(村々窮民の者年々取調難洪次第家内人数に応じ大麦半俵より3俵・5俵位代金にて御救助致すことに付) 民事懸→ 端裏書「村々窮民御救筋之儀伺」何之通」貼紙付	8月22日	切紙・1通	も 287

24 藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状

大東象五郎用状(御普請入用は書上の旨伺い等に付) 大東象五郎→関田大人様	9月11日	横切継紙・1通	も 78
会計懸伺書(千里申立のようすすべきとの旨に付) 会計懸→ 端裏書「祢津千里申立御尋ニ因拜借取立方之儀伺」]	12月12日	横切継紙・1通	も 221
計政副主事伺書(松村甚之丞・桜井佳人・関山治兵衛飯米差支難洪のため先ず1俵相渡に付) 計政副主事→ 端裏書「飯米差支拜借米之義伺」]	8月15日	横切継紙・1通	も 222
計政副主事申上書(柏原県へ出張難洪に付金45両拜借に付) 計政副主事→ 端裏書「春日庫治御内借之義ニ付申上」]	5月	切紙・1通	も 223
計政副主事申上并計監端裏朱印(篠崎源五郎・友野俊蔵・桜井佳人飯米差支難洪のため1俵つつ拜借並びに計監可とのことに付) 計政副主事→ 端裏書「申上」]	7月7日	切紙・1通	も 224
營繕庶務伺書(学校御修復御入料金20両に付) 營繕庶務→ 端裏書「学校御修復御中借伺」]	6月18日	横切継紙・1通	も 225
計政副主事申上并計監端裏朱印(緑川茂馬・依田多吉・宮本勇太郎飯米差支難洪のため1俵つつ拜借並びに計監可に付) 計政副主事→ 端裏書「申上」]	7月4日	切紙・1通	も 226
計政副主事用状(祢津千里難洪のため拜借金40両歎願に付) 計政副主事→		横切継紙・1通	も 227
(中借関連書類一括)		紙繕束・3点	も 228
(紙繕)		紙繕・1点	も 228-1
給録掛伺書并計政副主事答書貼紙(御賞典の分御中借にて支給並びに認可の旨に付) 給録掛→ 端裏書「小頭御足輕御賞典被下之分御中借之儀伺」]	2月晦日	切紙・1通	も 228-2
某用状[覚](午年分の玄米出入大凡の積に付) 端裏書「午年分大凡之出入」]		横切継紙・1通	も 228-3
(包紙) 栢植彦六・玉川一学→岸善八様		包紙・1点	も 100-1
玉川一学他一名用状(御預所ニ納年貢金の内悪金あり差支のため早速金出取計り願等に付) (玉川)一学・(栢植)彦六→	12月15日	横切継紙・1通	も 100-2

(岸)善八様			
[口上覚](包紙) 善光寺上人内柄沢彦三 掛紙[口願上人役人御手形官札と御引替の儀]両之通相願申候無余岐次第と奉存候間御聞濟被成下候様仕度此段奉伺候 郡政副主事]		包紙・1点	も102-1
柄沢彦三願書[奉願上候口上覚](遠国にて不通用の手形並びに商社手形官札の引換願に付) 善光寺上人内柄沢彦三→郡政御役所	6月	横切継紙・1通	も102-2
石阪市郎右衛門他一名申上書(穀留酒造菓子類差留の有無出張の者見込数提出等に付) (石阪)市郎右衛門・(野中)直之助→(倉田)三之丞様・(堀内)莊治様・(半田)亀作様		横切継紙・1通	も129
野中直之助申上書(札割賦10分1だけ受取と決定に付) (野中)直之助→(倉田)三之丞様	9月5日	横切継紙・1通	も135
直太郎願書(甲府拝借金青木小源二分支給とのことに付) 直太郎→弥左衛門様	6月10日	横切継紙・1通	も230
(松代藩管下御救のため借入金仮証綴)		紙縫綴・3点	も262
松代藩野池勇太郎仮証[仮証](今般松代藩管下の者御救助筋に付金30両借入に付) 松代藩野池勇太郎→甲州八代郡八田村八田伊左衛門殿	明治3年庚午12月	縦紙・1通	も262-1
松代藩野池勇太郎仮証[仮証](今般松代藩管下の者御救助筋に付金50両借入に付) 松代藩野池勇太郎→甲州山梨郡仙口村駒井孫八殿	明治3年庚午12月	縦紙・1通	も262-2
松代藩野池勇太郎仮証[仮証](今般松代藩管下の者御救助筋に付金100両借入に付) 松代藩野池勇太郎→甲州山梨郡倉科村間瀬竹八殿	明治3年庚午12月	縦紙・1通	も262-3
伊東千右衛門書状(金90両追々引替の件御含み置かれたき旨等に付) (伊東)千右衛門→清右衛門様	4月6日	横切継紙・1通	も124
三井金七郎内栄蔵受取書[覚](金札10両に付) 三井金七郎内栄蔵→郷原力作様	12月11日	横切継紙・1通	も126
某伺書(御県納所相場なきため大蔵卿より当未年石代相場 ^{の件御達の文義弁解仕兼ねるに付} 端裏書「十一月十七日急便ニ付伺差出」 ^二)	(明治4年)	横切紙・1通	も44
大蔵卿大久保他一名申渡(各府県管下当未年租税石代のため最寄市町相場書租税察へ差出すべき旨に付) 大蔵卿大久保・大蔵大輔井上→ - 端裏書「十一月十六日來ル」 ^一)	(明治4年)辛未8月8日	横切継紙・1通	も45
(御藩債のため上納金出資人へ盃下賜関係書類綴 明治4年4月)		紙縫綴・4点	も79
用度司用状(御藩債のため上納金出資人内川村赤池善之助他2名へ盃下賜に付) 用度司→ - 端裏書「四月十八日分廿八日河原権大參事断」	(明治4年4月)	横切紙・1通	も79-1
用度司用状(御藩債のため上納金出資人紙屋町上野要之助他80名へ盃・摺物下賜に付) 用度司→ -	(明治4年4月)	横切継紙・1通	も79-2
用度司用状(御藩債のため上納金出資人会計方算師附雇足輕吉味弁治郎へ摺物3枚下賜に付) 用度司→ - 端裏書「未四月七日赤沢権大參事断」	(明治4年4月)	横切紙・1通	も79-3
赤沢権大參事用状(御藩債のため上納金出資人紺屋町白沢定右衛門他30名へ煙管・摺物下賜に付) 赤沢権大參事(蘭溪)→用度司中	(明治4年)4月7日	横切継紙・1通	も79-4
会計掛用状(別紙伺の通了承並びに長岡茂市は九等分支給に付) 会計掛→ -		切紙・1通	も173
草間一路伺書[牢舎人仕着代御中借之儀伺](牢舎人共当冬仕着買上代金10両5分錢80文頂戴願に付) 草間一路→郡政副主事 下ケ札あり、一部破損	11月	縦半・1冊	も193
草間元司用状(御買上取計並びに代金受取に付) (草間)元司	正月6日	横切継紙・1通	も194

も 24 藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状 25 藩政／財政／計政局・会計掛／金札・銭札・官札

→(山寺)源太夫様・(高山)内蔵進様 端裏書「正月十四日到来 元司より十七日作答」			
某用状(当25日難渋村々御手当初当年より支給不能の旨申渡に付) 朱書点付		横切継紙・1通	も 257

25 藩政／財政／計政局・会計掛／金札・銭札・官札

会所書状(太政官札用立たず正金悪金にて才覚難渋のため 拝借金返納延引願に付) 会所→高山様	正月8日	横切継紙・1通	も 113
駒村佐十郎内々申上書(莫大損失不都合の件池辺五位殿と 会談に付) 駒村佐十郎→ - 端裏書「金札通用之義被仰出ニ付其 御向え罷出相伺候趣旨荒増御内々申上」	2月	横切継紙・1通	も 114
計政副主事申上書(全国銭札製造入料割合金送付のところ 途中この書面と行違いある旨等に付) 計政副主事→ - 端 裏書「全国銭幣之義ニ付申上」	12月5日	横切継紙・1通	も 115
郡方御役所廻状雛型(金札相金差出正金と引替の者処罰の 旨朝廷より指令に付) 郡方御役所→ - 端裏書「山里共二十七 通 五月二日午刻出ス」	5月2日	横切継紙・1通	も 138
与作申上書[覚](生麦村桐屋2朱500文等横浜表取替金に付) 与作→ -	5月14日	横切継紙・1通	も 174
[追々為替可相成金高并丁銅御買上代等御内借金書付](封 筒) 貼紙付		封筒・1点	も 211
布野村名主清右衛門他二名願書[乍恐以書付奉願候](金札 一向なく上納手段なきため御製造之御手形と正金にて 322両余分引替願) 布野村名主清右衛門・組頭彦左衛門・長百姓 市川三左衛門→ -	明治2年巳12月	豎半・1冊	も 30
(志垣村岡本広太御用紙買上金銭受取証文綴 明治2年)		紙綴綴・2点	も 95
志垣村岡本広太受取書[差上申一札之御事](金御手形御製 造紙買上代金50両に付) 志垣村岡本広太→酒井市治様・水野清 右衛門様 端裏書「志垣村岡本広太」	明治2年巳10月	豎紙・1通	も 95-1
志垣村岡本広太受取書[差上申一札之御事](九月中御用紙 買上代金100両に付) 志垣村岡本広太→御用紙御役所 端裏書 「御製造御用紙代金之内」志垣村岡本広太」	明治2年巳11月19日	豎紙・1通	も 95-2
(金札正金引替取集方関係申上書綴 明治2年7月)		紙綴綴・4点	も 107
正金取立掛申上書(純金見本回覧の上廻村にて人別毎所持 の分取集めるべきか伺いに付) 正金取立掛→ - 端裏書「金 札正金御引換之義ニ付申上」	(明治2年)7月	横切継紙・1通	も 107-1
御勝手元メ申上書[金札正金御引替之儀ニ付再申上](支配 村々より取集の金札贖金多いため性合宜分少分にて上納 間に合いかねる旨に付) 御勝手元メ→ -	(明治2年)巳7月16日	横切継紙・1通	も 107-2
岡野弥右衛門申上書(正金引替の件勘定吟味の上晩日返却 に付) 岡野弥右衛門→酒井市治殿	(明治2年)7月16日	横切継紙・1通	も 107-3
御勝手元メ申上書[金札正金引替之儀ニ付再申上](支配 村々より取集の金札贖金多いため上納間に合いかねる旨 に付) 御勝手元メ→ -	(明治2年)巳7月16日	横切継紙・1通	も 107-4
(金札見本一括)		包紙綴・4点	も 4
(包紙)		包紙・1点	も 4-1
(金札見本・金弍朱)		金札・1点	も 4-2
(金札見本・金壹分)		金札・1点	も 4-3

(金札見本・金壹両)		金札・1点	も 4-4
(藩札発行関係書類一括)		貼継一括・2点	も 5
野中直之助添書(一封急御用筋のため村継立のうえ届けるべき旨に付) 野中直之助→下横田村・岩野村右村々三役人	11月12日	横切紙・1通	も 5-1
(包紙) 倉田三之丞・野中直之助→酒井市治様・水野清右衛門様 も 5-1に接合、野中直之助の継目印あり		包紙・1点	も 5-2-1
野中直之助他一名申上書(藩札発行ための銅版・ろくろ代料に付) (野中)直之助・(倉田)三之丞→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	11月12日	横切紙・1通	も 5-2-2
(藩札関係中借金返上につき受取証文綴 明治3年7月～12月)		紙綴綴・4点	も 31
徳嵩広馬受取証文[覚](全国銭札入料金の内中島啓作420両上納に付) 徳嵩広馬→岡野敬一郎殿 端裏書「明治三年七月二日全国銭札御入料金の内中島啓作上納」	明治3年7月3日	縦紙・1通	も 31-1
池田富之進受取証文[覚](全国銭札他藩県の分引換中借金の内420両司金方へ上納に付) 池田富之進→岸善八殿 端裏書「銭札引換代官札小諸より送り通し之分預ケ」	明治3年午10月2日	縦紙・1通	も 31-2
徳嵩広馬受取証文[覚](官札引換代2千両御中借の内200両返上に付) 徳嵩広馬→岡野敬一郎殿 端裏書「新地村江式千両御貸下之返上預ケ上納」	明治3年午12月11日	縦紙・1通	も 31-3
中嶋渡浪受取証文[覚](藩札引替官札御入料3千両中借の内1千両返上に付) 中嶋渡浪→岡野敬一郎殿 端裏書「二月二日御藩札引替官札三千両中借之内返上」	明治4年末2月11日	縦紙・1通	も 31-4
(新御製造金手形関係書類綴)		紙綴綴・13点	も 39
計政副主事申上書(御新造手形到来のため改印取調引替掛り並びに立合の監使主簿出役人名に付) 懸り計政副主事→ - 端裏書「御新造手形掛り被仰渡之義申上」	3月	横切紙・1通	も 39-1
宮入伝治他一名内借証文[覚](御製造方御入料内借金8両に付) 宮入伝治・白木清吉→酒井市治殿・水野清右衛門殿	4月14日	横切紙・1通	も 39-2
大熊董用状(御製造手形所にて出来のため大瓶等受取の件伺の通り承済の旨に付) 大熊董→岸善八殿	4月8日	横切紙・1通	も 39-3
岸善八用状(銅板摺立今朝より始めさせたまきため不都合なきよう御蔵へ出席いたされたまき旨に付) 岸善八→酒井市治殿	4月8日	横切紙・1通	も 39-4
某用状(堀田莊作等17名名面書立)		横切紙・1通	も 39-5
某用状(出納懸等名面書立)		横切紙・1通	も 39-6
某用状(酒3合等代金書立)		横切紙・1通	も 39-7
計政副主事用状(引換掛受取物の件承済と用度司へ申渡置く旨に付) 掛り計政副主事→		横切紙・1通	も 39-8
岸善八伺書並びに承済貼紙(手桶等御製造方入料物受取のため用度司へ申渡願の旨に付) 岸善八→ - も 39-8と10挟込、端裏書「申上」	4月	横切紙・1通	も 39-9
計政副主事伺書並びに承済貼紙[木町左兵衛再御製造金子手形紙方之義申上](再御製造金手形問合ざるため木町左兵衛へ紙方応急申渡たきに付) 計政副主事→	4月15日	横切紙・1通	も 39-10
[御製造御入料請取通帳] 伊木徳右衛門	明治3年庚午4月	横半半・1冊	も 39-11
計政副主事伺書(新御製造金手形1千500両御中借の上司金方へ内預け御金配りたまき旨に付) 計政副主事→ - 端裏書「新御製造金手形御中借之儀伺」	4月19日	横切紙・1通	も 39-12
鎌原溶水用状(別紙伺の通り承済み委細御製造懸りへ申談べき旨に付) 鎌原溶水→岡野敬一郎殿	4月19日	横切紙・1通	も 39-13

[上 大塚村東組](包紙)		包紙・1点	も106-1
大塚村東組忠吾他二名願書[乍恐以書付奉願上候](大札のため当村役場指引差支のため10両札3枚御製造手形と引替に付) 大塚村東組名主忠吾・組頭助之丞・長百姓町田重左衛門→租税司御役所		堅紙・1通	も106-2
(金札引替関係書類一括 11月)		紙繕束・3点	も127
(紙繕)		紙繕・1点	も127-1
某用状(大札贖金引替の件民部省・大蔵省達写に付) 端裏書「大札小札ニ引替 贖金引替之事」	11月	横切継紙・1通	も127-2
大蔵省出納司受取書[証](松代藩知事真田從四位渡銀台金札3千619両に付) 大蔵省出納司→	11月22日	横切継紙・1通	も127-3
計政方伺書(銭通用仰出のため金札引替願に付) 計政方→端裏書「全国通用銭札之義ニ付伺」	11月	横切継紙・1通	も128
某用状(全国銭幣代幣差引残金当暮まで返済取計り願に付)		横切紙・1通	も130
(古金引換関係書類一括)		包紙一括・3点	も131
(包紙)		包紙・1点	も131-1
佐藤美与喜用状[覚](真文小判・保字1分金代金勘定に付)(佐藤美与喜)→		横切紙・1通	も131-2
佐藤美与喜申上書(蚕種税金上納の内古金送付に付)(佐藤)美与喜→新平様	正月25日	横切紙・1通	も131-3
(金札通用方触関係書類一括)		紙繕束・4点	も136
(紙繕)		紙繕・1点	も136-1
某用状(別紙の通り金札通用方仰出に付)		横切紙・1通	も136-2
行政官達写(金札通用方に付)	12月	横切継紙・1通	も136-3
一場茂右衛門他一名廻状(別紙の通り金札通用方仰出触示に付) 一(一場)茂右衛門・片(片岡)十郎兵衛→町外当年番い組他39組右組々役人 下ケ札あり	2月15日	横切継紙・1通	も136-4
柘植嘉兵衛申上書(小札引替の件東京中数十件周旋のところ引替不能に付)(柘植)嘉兵衛→(草間)一路様・(佐藤)為之進様・(岡野)弥右衛門様	7月朔日	横切継紙・1通	も137
[辰年中羽尾村大谷幸蔵為替金上納調]	(明治2年)巳7月	横長半・1冊	も27
[金銀札引替人別凡取調](会津屋清右衛門ほか)		横長半・1冊	も28
兩人用状(全国銭札早々御造り下されたき旨に付) 兩人→中嶋啓作様	12月6日	横切継紙・1通	も47
中嶋啓作用状(中野表在中井伊真証殿へ諸藩より銭幣摺立の件相談に付)(中嶋)啓作→祐左衛門殿	12月4日	横切継紙・1通	も48
某用状(去巳年全国通用銭幣発行立合大儀の旨達等書取に付) 付紙あり		横切紙・1通	も49
金札借入金下案(金札御借入金高1割減金願に付) 端裏書「申上下案」	2月23日	横切継紙・1通	も116
(藩札発行関係書類一括)		紙繕綴・8点	も3
某申上書(藩札用紙武州小川町松本勘左衛門へ注文に付) 端裏書「銅一条事」申上」	(明治3年)午2月12日	横切継紙・1通	も3-1
某用状(藩札発行代金見積に付)		横切継紙・1通	も3-2
某用状(藩札発行数内訳に付)		横切紙・1通	も3-3
某用状(藩札数・代金見積に付)		横切紙・1通	も3-4

某用状(藩札発行数内訳に付) 端裏書「伺済札数事」	2月12日	横切紙・1通	も3-5
某用状(藩札発行数23万両内訳に付) 裏打済		横切紙・1通	も3-6
某用状(藩札発行数13万両内訳に付) 裏打済		横切紙・1通	も3-7
金太郎申上書(松代へ銅版職人召連れの費用多分にて不都合の旨に付) 金太郎→(岡野)敬一郎様・(岸)善八様 端裏書「三月十七日 落手」	2月6日	横長半・1冊	も3-8
[御用](包紙) 柘植彦六→草間一路様・岡野敬一郎様		包紙・紙縫束・1点	も121-1
柘植彦六書状(金札引替正金上納分4千204両送金御改願に付) (柘植)彦六→(草間)一路様・(佐藤)美与喜様・(岡野)敬一郎様	10月6日	横切紙・1通	も121-2
[御用](包紙) 大塚谷平・海沼辰男→酒井市治殿・水野清右衛門殿		包紙・紙縫束・1点	も122-1
大塚谷平他一名書状(金札引替正金上納分4千204両送金御改願に付) (海沼)辰男・(大塚)谷平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様		横切紙・1通	も122-2
石阪市郎右衛門申上書(楮幣製造下方弥七郎より差止め取計りたき旨に付) 石阪市郎右衛門→ 端裏書「楮幣新造御断ニ可運次第御断付申上」	9月6日	横切紙・1通	も125
(計政副主事申上書綴)		紙縫綴・2点	も24
計政副主事申上書(全国銭札幣官札と引替のため御賞典の内より当座2歩金引替願に付) 計政副主事→ 端裏書「全国銭札引換官札之義ニ付別紙相添申上」	8月	横切紙・1通	も24-1
計政副主事申上書(官札払底のため御賞典御渡残金2千両当座中借願に付) 計政副主事→ 端裏書「申上」	9月	横切紙・1通	も24-2
中島渡浪他二名用状[記](銭貨歩引通用指令のため銭1475貫余減銭に付) 中島渡浪・徳嵩広馬・野本力太郎→	明治4年辛未12月晦日	縦紙・1通	も97
会計掛伺書(全国銭札通用停止のため取纏分銭1万7千566貫余払切の件承諾願に付) 会計掛→ 端裏書「全国銭札御纏之分御払切之儀ニ付伺」	(明治4年末)8月	横切紙・1通	も105
会計懸申上書(藩札当県にて引換印直し取計依頼に付) 会計懸→ 端裏書「長野県藩札引換之義ニ付申上」	10月2日	横切紙・1通	も110
(全国銭札引換に付御藩中へ通達関係書類綴)		紙縫綴・2点	も120
会計懸申上書(全国銭札御藩中より預り置代幣御下げのため司金向にて引替願の旨別紙名面へ御達依頼に付) 会計懸→ 端裏書「全国銭札引換御藩中へ御達之義申上」	8月	横切紙・1通	も120-1
会計懸用状(清野村近藤権内等名面書) 一部裏打		横切紙・1通	も120-2
桜井直治申上書[口演](東京表にて金札大下落のため当月10日頃までに相場定の旨水野様へ申上取次依頼に付) 桜井直治→銀作殿	3月朔日	横切紙・1通	も90
柘植彦六他一名申上書(民部省宛上納金小札多く包装用紙不足のため上納手段に付) 柘植彦六・玉川一学→ 端裏書「金札引換正金御上納残札御皆納済之義申上」	正月25日	横切紙・1通	も91
玉川一学申上書(大蔵出納司配布の金札引換正金上納残札切手別紙添付に付) 玉川一学→ 端裏書「大蔵出納司請取切手差上申上」	正月25日	横切紙・1通	も92
小野善四郎申上書(正金引換御上納残金札御返納方の件当月25日改済み大蔵省へ納付に付) 小野善四郎→ 端裏書「正金引換御返納残金札納済之義申上」	正月25日	横切紙・1通	も93
玉川一学申上書並びに別紙(正金引換御上納残金札別紙の通り返納に付) 松代藩公用人玉川一学→民部御役所「松代県」罫紙、朱筆掛紙付き	正月24日	縦半・1冊	も94

26 藩政／財政／計政局・会計掛／商法社札

(商社手形引替金関係書類綴 慶応4年7月～明治3年5月)		紙綴綴・7点	も99
佐藤為之進金銭受取証文[覚](古金119両余引替之分に付) 佐藤為之進→草間一路殿 端裏書[佐藤様分]	慶応4年辰7月	縦紙・1通	も99-1
岸善八申上書(鹿野氏別紙の通り申来のため証文を御製造 へ入れ金札を取戻し引替願に付) 岸善八→酒井市治殿	5月23日	横切継紙・1通	も99-2
鹿野外守申上書(内借金2千500両古手形にては不都合のため 御手之方にて引替願に付) (鹿野)外守→(岸)善八様	5月23日	横切継紙・1通	も99-3
岸善八中借証文[覚](御製造古金手形2千500両中借に付) 岸善八→鹿野外守殿	明治3年午5月23日	縦紙・1通	も99-4
某金銭受取証文[覚](御製造古金手形引替分2千500両内預 けに付) - →岸善八殿	明治3年午5月	縦紙・1通	も99-5
水井市治受取書[覚](官札払底のため商社為替手形引替官 札の内借込の分1万両に付) 水井市治→岸善八殿 端裏書[商 社より官札中借御当用え預ケ]	明治3年午8月5日	縦紙・1通	も99-6
上村何右衛門請取書[覚](当用官札払底のため御引当とし て中借の内へ返上金125両に付) 上村何右衛門→富永新平殿 端裏書[未八月金百七拾御領森理兵衛御貸り内え百兩返上迄請取]	明治3年午8月18日	縦紙・1通	も99-7
(商社為替手形引換関係書類一括 明治3年2月～11月)		袋一括・37点	も6
[商社為替手形御貸出証文入](袋) 出納掛	午5月	袋・1点	も6-1
(商社為替田方引替証文綴 明治3年2～6月)		紙綴綴・10点	も6-2
水野清右衛門他一名商社手形引替証文[覚](商社為替手形 と金札1千両引替に付) 水野清右衛門・酒井市治／(奥印)岸善 八→伊勢町九藏	明治3年午5月	縦紙・1通	も6-2-1
水野清右衛門他一名商社手形引替証文[覚](商社為替手形 と金札200両引替に付) 水野清右衛門・酒井市治／(奥印)岸善 八→紺屋町惣左衛門	明治3年午6月2日	縦紙・1通	も6-2-2
水野清右衛門他一名商社手形引替証文[覚](当藩要用のため 金札1千両借用に付) 水野清右衛門・酒井市治／(奥印)岸善 八→善光寺町牧野荘左衛門殿	明治3年午5月	縦紙・1通	も6-2-3
善光寺正左衛門商社手形引替証文[覚](当地要用のため200 両官札にて拝借に付) 善光寺正左衛門→酒井市治様・水野清右 衛門様	明治3年午5月	縦紙・1通	も6-2-4
水野清右衛門他一名商社手形引替証文[覚](才覚金900両受 取に付) 水野清右衛門・酒井市治／(奥印)岸善八→伊勢町伝兵衛	明治3年午2月	縦紙・1通	も6-2-5
水野清右衛門他一名商社手形引替証文[覚](才覚金200両受 取に付) 水野清右衛門・酒井市治／(奥印)岡敬一郎→伊勢町伝兵 衛 文墨抹消	明治3年午3月	縦紙・1通	も6-2-6
上生坂村平村文五右衛門他一名商社手形引替証文[覚](商 社引替金札差上げ1千両拝借成し下さるに付) 上生坂村平 村文五右衛門・右同人宿請人飯島新兵衛→計政出納掛御役所	明治3年午6月	縦紙・1通	も6-2-7
小森村宮津恒佐商社手形引替証文[覚](商社引換金札差出 し280両拝借成し下さるに付) 小森村宮津恒佐→計政出納掛 御役所	明治3年午5月	縦紙・1通	も6-2-8
下布施村山崎覚左衛門商社手形引替証文[覚](商社引替金 札差出し200両拝借成し下さるに付) 下布施村山崎覚左衛門 →計政出納掛御役所	明治3年午5月	縦紙・1通	も6-2-9
善光寺牧野正左衛門商社手形引替証文[覚](商社引替金札 差上げ1千両拝借成し下さるに付) 善光寺牧野正左衛門→計	明治3年午5月	縦紙・1通	も6-2-10

政出納掛御役所			
(商社手形引替関係用状綴 明治3年3月～9月)		紙縫綴・15点	も6-3
計政副主事某用状(別紙の趣司金へ申渡置く旨に付) 計政副主事→-	(明治3年)	横切紙・1通	も6-3-1
酒井市治申上書並びに喜左衛門勘返状(御扶持代として金札60両御落手下さるべき旨に付) (酒井)市治・(水野)清右衛門→(野中)喜左衛門様	(明治3年)5月28日	横切紙・1通	も6-3-2
もり栄作申上書[口上](穀屋小島田村吉左衛門米50俵蔵納のため50両下金願に付口上取次に付) もり栄作→水野清右衛門様	(明治3年)3月3日	横切紙・1通	も6-3-3
(拝借金1万6千325両余・利金489両余勘定書)	(明治3年)	横切紙・1通	も6-3-4
計政副主事某申上書(小布施村より六川へ遣す正金1千両のうち勿金263両手札にて至急引替の旨に付) 計政副主事→ - 端裏書「申上」	(明治3年)9月8日	横切紙・1通	も6-3-5
(封筒) 大黒屋近太郎→酒井旦那(市治)様	6月3日	封筒・1点	も6-3-6
大黒屋近太郎用状(先刻差上置の金札此人へ下げ渡す旨願に付) (大黒屋)近太郎→酒井旦那(市治)様	(明治3年)6月3日	横切紙・1通	も6-3-7
三沢清美用状(先般返金の小布施より差遣の正金のうち263両悪金のため勿金として引替に付) (三沢)清美→計政副主事様	(明治3年)9月7日	横切紙・1通	も6-3-8
良右衛門用状(大里氏米代為替金850両落手下さるべき旨に付) 良右衛門→(水野)清右衛門様	(明治3年)庚午9月28日	横切紙・1通	も6-3-9
酒井市治申上書(柏屋藤助金札300両引替願に付) (酒井)市治→(水野)清右衛門様	(明治3年)6月3日	横切紙・1通	も6-3-10
岸善八用状(別紙の趣承済、手形掛りへ申渡置く旨に付) 岸善八→-		横切紙・1通	も6-3-11
岸善八伺書(商社借入金期日のため金489両余製造懸りより商社金手形中借の旨仰渡願に付) (岸)善八→- 端裏書「伺」	(明治3年)7月晦日	横切紙・1通	も6-3-12
岸善八伺書(商社借入金期日のため金282両余製造懸へ商社金手形中借の旨仰渡願に付) (岸)善八→- 端裏書「伺」	(明治3年)8月29日	横切紙・1通	も6-3-13
岸善八申上書(商社札1万両製造懸りより中借のため仰渡願に付) (岸)善八→- 端裏書「申上」	(明治3年)8月5日	横切紙・1通	も6-3-14
岸善八用状(別紙の趣承済・製造懸りへ申渡置く旨に付) 岸善八→-	(明治3年)	横切紙・1通	も6-3-15
(官札引替代商社手形内預証文綴 明治3年5月～11月)		紙縫綴・4点	も6-4
徳嵩広馬内預証文[覚](借込分官札引替代商社手形1千199両に付) 徳嵩広馬→岡野敬一郎殿 端裏書「午十一月十五日 官札引替代商社手形御借込之分預ケ」	明治3年午11月15日	縦紙・1通	も6-4-1
中嶋渡浪内預証文[覚](借込分官札引替代商社手形1千368両余に付) 中嶋渡浪→岡野敬一郎殿 端裏書「商社より御当用江御借込預ケ」	明治3年午閏10月11日	縦紙・1通	も6-4-2
池田富之進内預証文[覚](時預分官札引替代商社手形1千122両余に付) 池田富之進→岡野敬一郎殿 端裏書「七月十二日御当用へ内預ケ」	明治3年午7月12日	縦紙・1通	も6-4-3
徳嵩広馬内預証文[覚](商社為替手形300両に付) 徳嵩広馬→岡野敬一郎殿 端裏書「商法社官札御当用江内預ケ」	明治3年午7月5日	縦紙・1通	も6-4-4
(金銭受取証文綴 明治3年5月～10月)		紙縫綴・3点	も6-5
須坂小布施土佐五郎金銭受取証文[覚](御扶持持24俵代金80両頂戴に付) 須坂小布施土佐五郎→酒井市治殿・水野清右衛門殿	明治3年午5月28日	縦紙・1通	も6-5-1
富岡良右衛門金銭受取証文[覚](生糸等買上代金5千両受取	明治3年午10月17日	縦紙・1通	も6-5-2

も 26 藩政／財政／計政局・会計掛／商法社札

に付) 富岡良右衛門→水野清右衛門殿・月岡善平殿 端裏書「午十月十七日 富岡良右衛門」			
きくや九蔵金札引替証文〔覚〕(手形1千両引替に付) きくや九蔵→御産物方御役所	明治3年午6月5日	縦紙・1通	も6-5-3
[商社為替手形引換官札請取通](新地村和蔵分) 水野清右衛門	明治3年午7月	横長半・1冊	も6-6
[商社為替手形一件留](銅板札摺立に付書状等留)	明治3年午3月	横長半・1冊	も6-7
[金札引換商社為替手形請払元帳](司金方江時預・引戻分)引換掛 表紙「不用」	明治3年午5月	横長半・1冊	も6-8
(山崎寛左衛門等へ代幣中借渡金勘定帳)	(明治3年)5月	横長半・1冊	も6-9
某用状(金手形再製造に付) 破損不開		横切継紙・1通	も7
計政副主事申上書(一時代幣備置のため産物貸附所金主武蔵屋勇助へ談判の上2万両借入の旨に付) 端裏書「商社手形代幣之義ニ付申上」	4月14日	横切継紙・1通	も8
[商法社規則] 松代商法会社	明治3年午4月	縦半・1冊	も9
[規則附録](商法社規則附録) 松代商法会社	明治3年午4月	縦半・1冊	も10
[為替手形代幣一条](包紙) 大熊董→鎌原溶水様	5月25日	包紙・1点	も12
[上](包紙)		包紙・1点	も13-1
鼠新地村和蔵他二名申上書〔乍恐以書付奉申上候〕(為替金貸附所貸附金調達の件松代商社差加金断る旨等に付) 鼠新地村和蔵・中町相原邦治郎・妻科村新田組新八	明治3年午5月	縦半・1冊	も13-2
某申上書(新地村東京出の件庶務掌より別紙之趣申聞に付) 端裏書「申上」	(明治3年)4月13日	横切紙・1通	も14
大熊董用状(商社手形代幣才覚方の件何の通申渡宜しき旨に付) (大熊)董→(鎌原)溶水様 端裏書「商社手形代幣之事」	(明治3年)5月19日	横切継紙・1通	も15
佐藤美与喜伺書並びに議長添伺貼紙(商法社手形代幣備立の件中町相原邦次郎周旋不都合なきよう取計の旨申渡に付) 佐藤美与喜 端裏書「商社手形代幣才覚之義ニ付伺」	(明治3年)5月18日	横切継紙・1通	も16
計政庶務掌申上書(商社手形為替前金差出方引受及び商社規則書取調の件に付) 端裏書「商社御手形代幣等之義ニ付申上」	(明治3年)4月	横切継紙・1通	も17
玉川一学他三名申上書(商法社手形代幣備立の件中町相原邦次郎らへ取計申渡に付) (玉川)一学・(栢植)彦六・(佐藤)美与喜他1名→(岡野)敬一郎様・(岸)善八様	(明治3年)5月19日	横切継紙・1通	も18
敬一郎申上書(新地村一条三井鈴木の者ども持参の官札を引上げ手形下げ遣わす旨等に付) (岡野)敬一郎→(岸)善八様	(明治3年)5月26日	横切継紙・1通	も19
中町相原邦治郎他二名申上書〔乍恐以書付奉申上候〕(為替金貸附所貸附金調達の件松代商社差加金断る旨等に付) 鼠新地村和蔵・妻科村新田組新八・中町相原邦治郎→御産物御掛り御役所	明治3年午5月	縦半・1冊	も20
(商社為替手形銅板彫刻関係書類一括 明治3年6月～7月)		包紙一括・17点	も21
[商社札銅板刻之事](包紙) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)7月9日	包紙・1点	も21-1
鎌原溶水申達書(為替手形銅板不十分のため飯島与作へ彫刻直させる旨に付) (鎌原)溶水→(大熊)董様	(明治3年)6月18日	横切継紙・1通	も21-2
佐藤美与喜申上書(商社銅板彫上のため在所計政局へ送付の旨に付) 佐藤美与喜→ 端裏書「一」商社銅板之義ニ付申上」	(明治3年)6月9日	横切継紙・1通	も21-3
佐藤美与喜申上書(商社為替手形銅板彫上10日迄出来の旨に付) 佐藤美与喜→ 端裏書「二」銅板御在所江差送り之義申	(明治3年)6月10日	横切紙・1通	も21-4